

数学科からの問題 No. 2 解答

解説

(1) 6月1日が月曜日だとすると右のようなカレンダーになる。このとき、
6月 平日22日 土日8日
9月 平日22日 土日8日
なので、製品の個数は同じ。
6月の方が9月よりも製品の個数が多いので、
9月の方が土日の数が少ない。6月と9月の曜日のずれを考えると、6月1日は木曜日、9月1日が金曜日。

6月	月	火	水	木	金	土	日
	1					6	7
	8					13	14
	15					20	21
	22					27	28
	29	30					
9月	月	火	水	木	金	土	日
		1				5	6
	7					12	13
	14					19	20
	21					26	27
	28	29	30				

このときのカレンダーが右図。このとき、
6月 平日22日 土日8日
9月 平日21日 土日9日

6月が 372 個，9月が 366 個なので，平日と土日の作成数の差は 6 個
6月がすべて平日として考えると，
 $372 + 6 \times 8 = 420$
 $420 \div 30 = 14$
より，平日が 14 個，土日が 8 個
7月については，平日21日，土日10日なので，
 $14 \times 21 + 8 \times 10 = 374$ (個)

6月	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4
	5					10	11
	12					17	18
	19					24	25
	26	27	28	29	30		
9月	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	4					9	10
	11					16	17
	18					23	24
	25	26	27	28	29	30	